

2025年05月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

「残業＝人員不足」と考える40代が約半数

株式会社アイデム

メディアソリューション事業本部 データリサーチチーム

調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2025/05/01～2025/05/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- 2025/05/02～2025/06/05（35日間）

調査方法

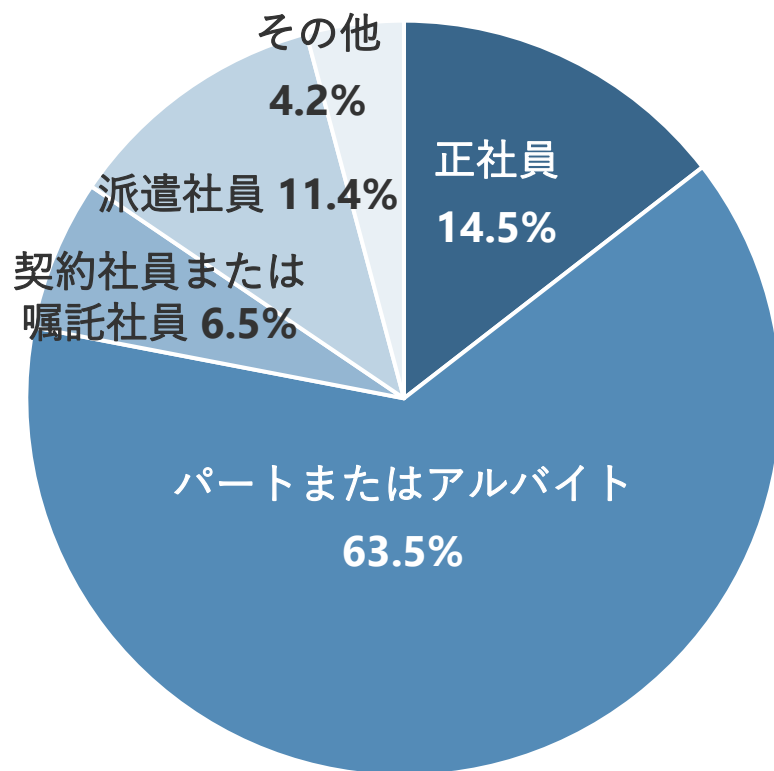
- インターネットリサーチ

有効回答数

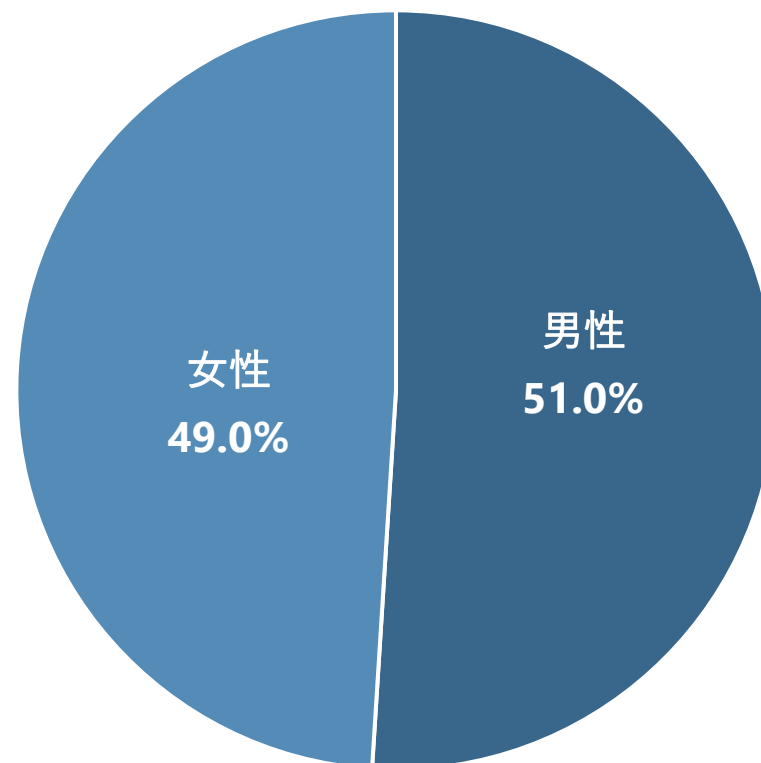
- 696件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態

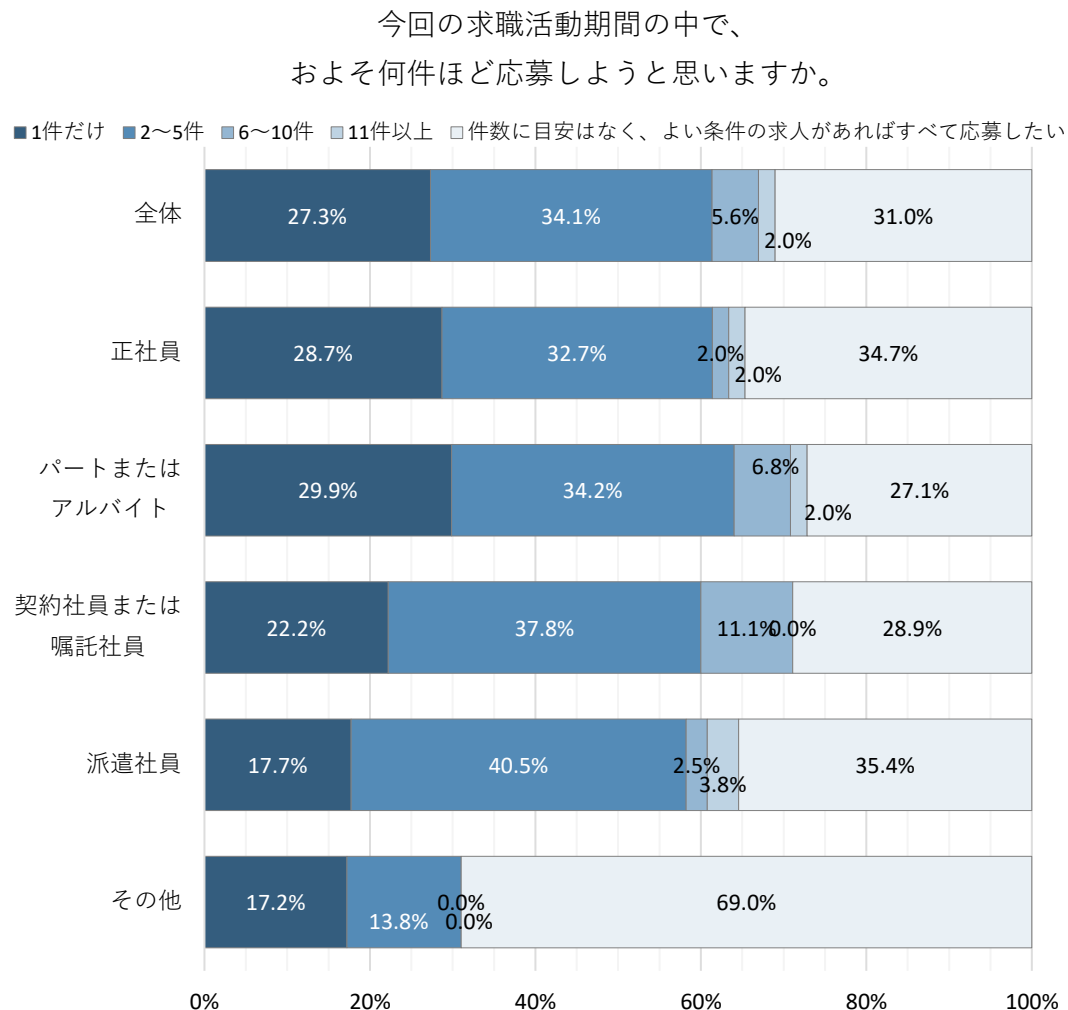


性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうか聞いた。全体では、「2～5件」が最も多く34.1%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が31.0%、「1件だけ」が27.3%、「6～10件」が5.6%、「11件以上」が2.0%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の約7割となった。

希望雇用形態別にみると、「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が34.2%、「1件だけ」が29.9%となった。応募件数に目安を設けて活動している人が多い。



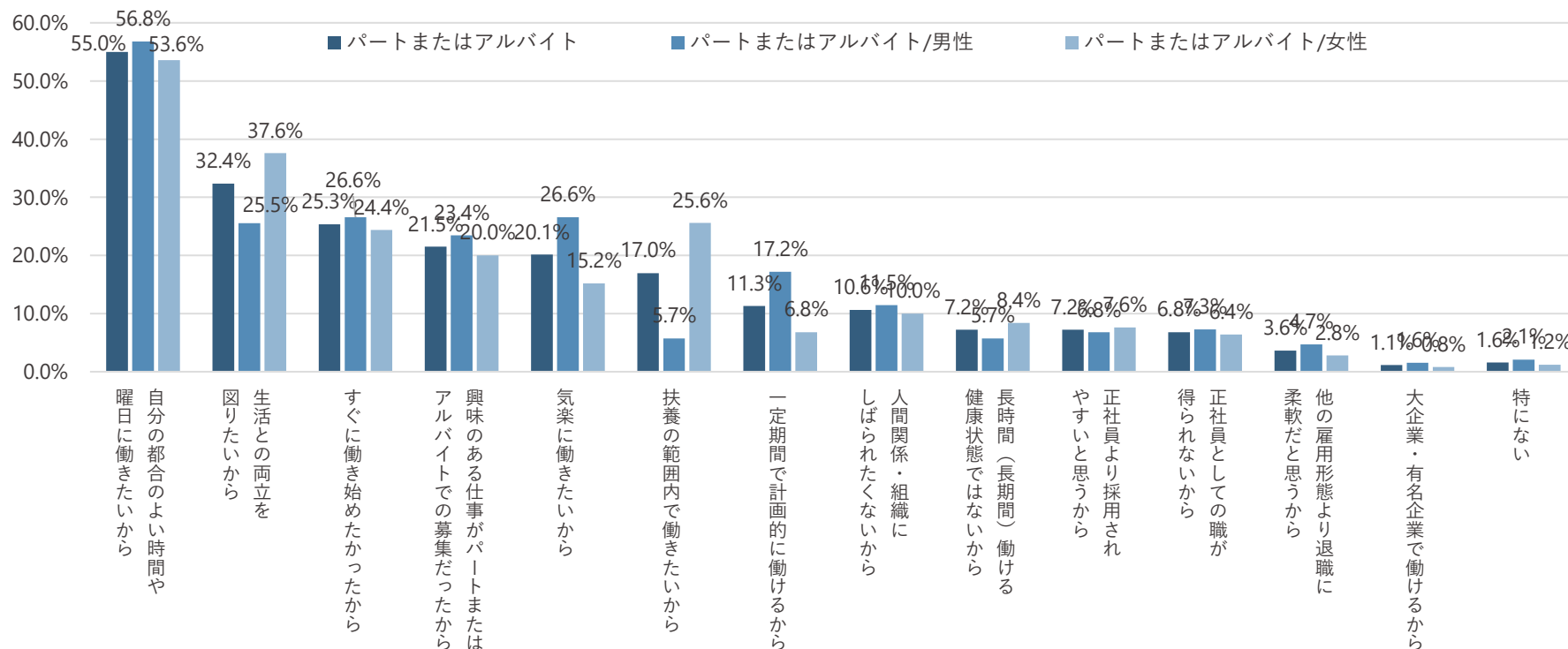
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で55.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が32.4%、「すぐに働き始めたかったから」が25.3%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が11.4pt、「一定期間で計画的に働けるから」が10.4pt高くなった。心身に負担が少ないかたちで、期限を定めて就業したい人が女性より多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が19.9pt、「生活との両立を図りたいから」が12.1pt高くなった。限られた範囲の中で働くことのできるスタイルを探していることがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



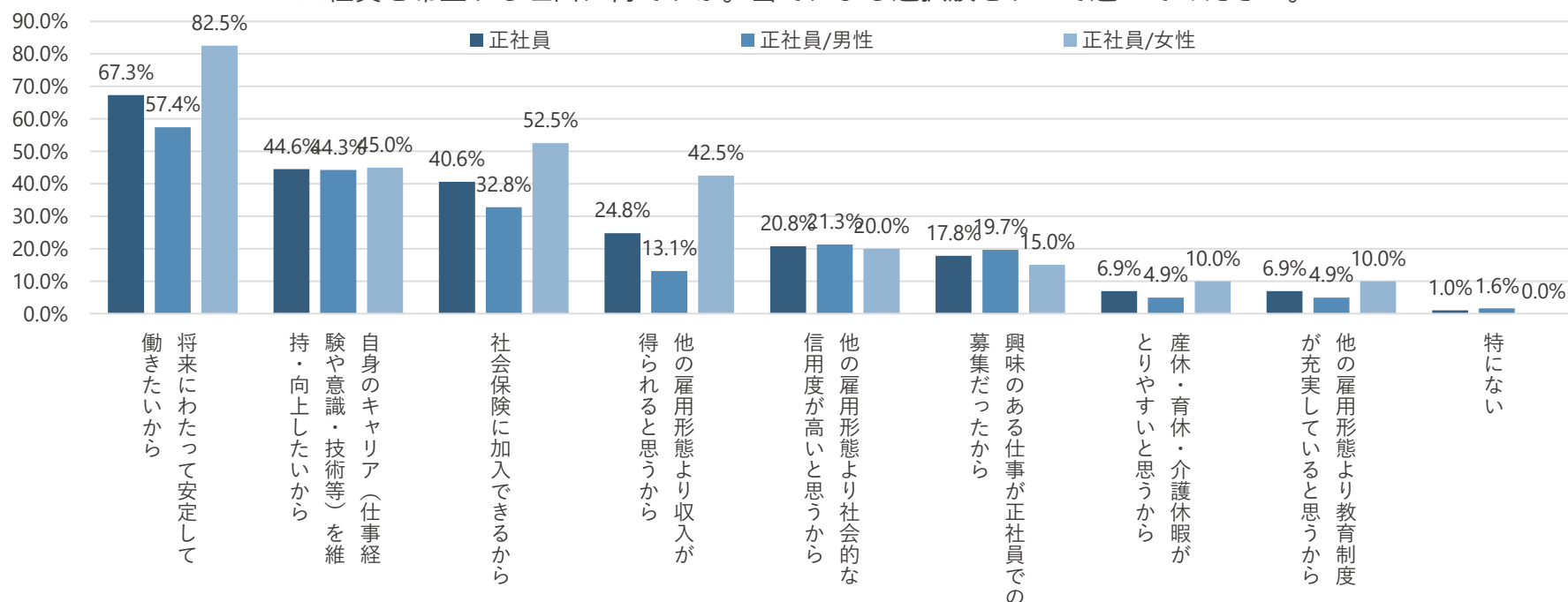
正社員を希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が67.3%、次いで「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が44.6%、「社会保険に加入できるから」が40.6%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「興味のある仕事が正社員での募集だったから」が4.7pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が29.4pt、「将来にわたって安定して働きたいから」が25.1pt、「社会保険に加入できるから」が19.7pt高くなった。特に「将来にわたって安定して働きたいから」は8割以上の正社員希望の女性が選んでおり、長期間雇用が続くことを重要と考えて正社員を希望していることがわかる。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



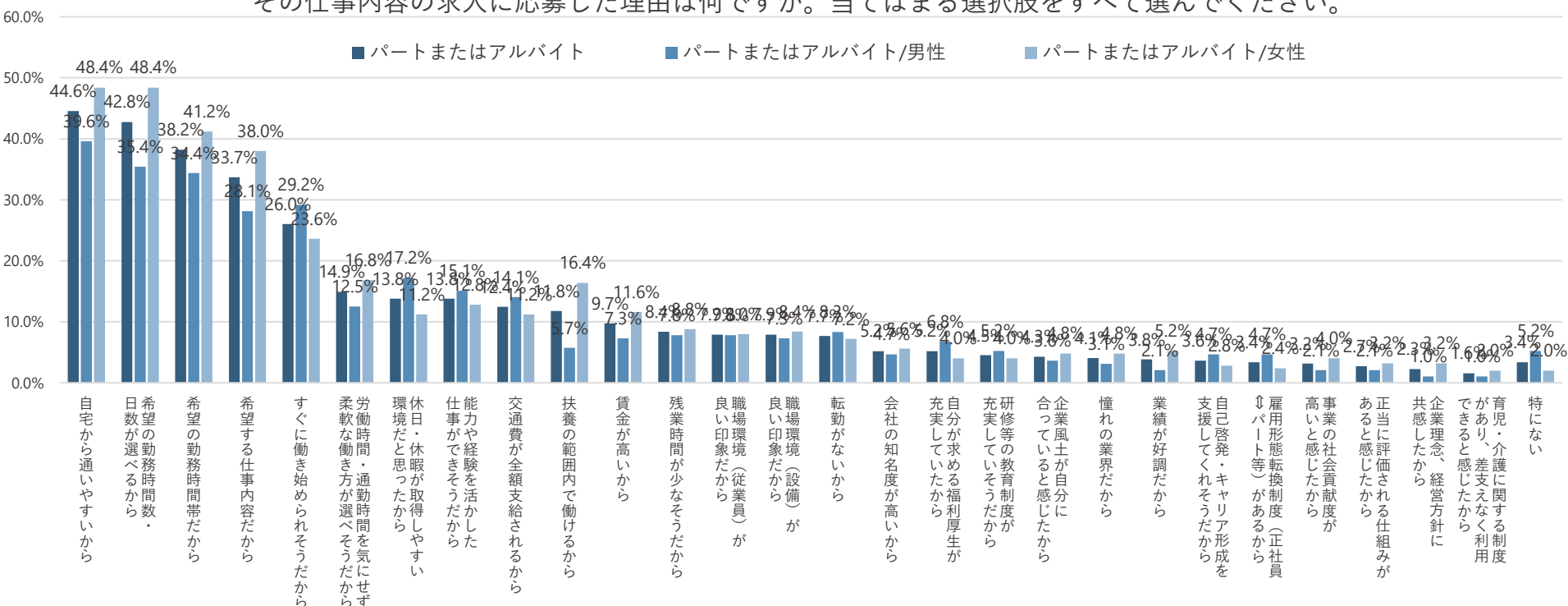
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で44.6%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が42.8%、「希望の勤務時間帯だから」が38.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が6.0pt、「すぐに働き始められそうだから」が5.6pt高くなった。就業できるまでの期間が短いことを、メリットとしてとらえる人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が13.0pt、「扶養の範囲内で働けるから」が10.7pt、「希望する仕事内容だから」が9.9pt高くなった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



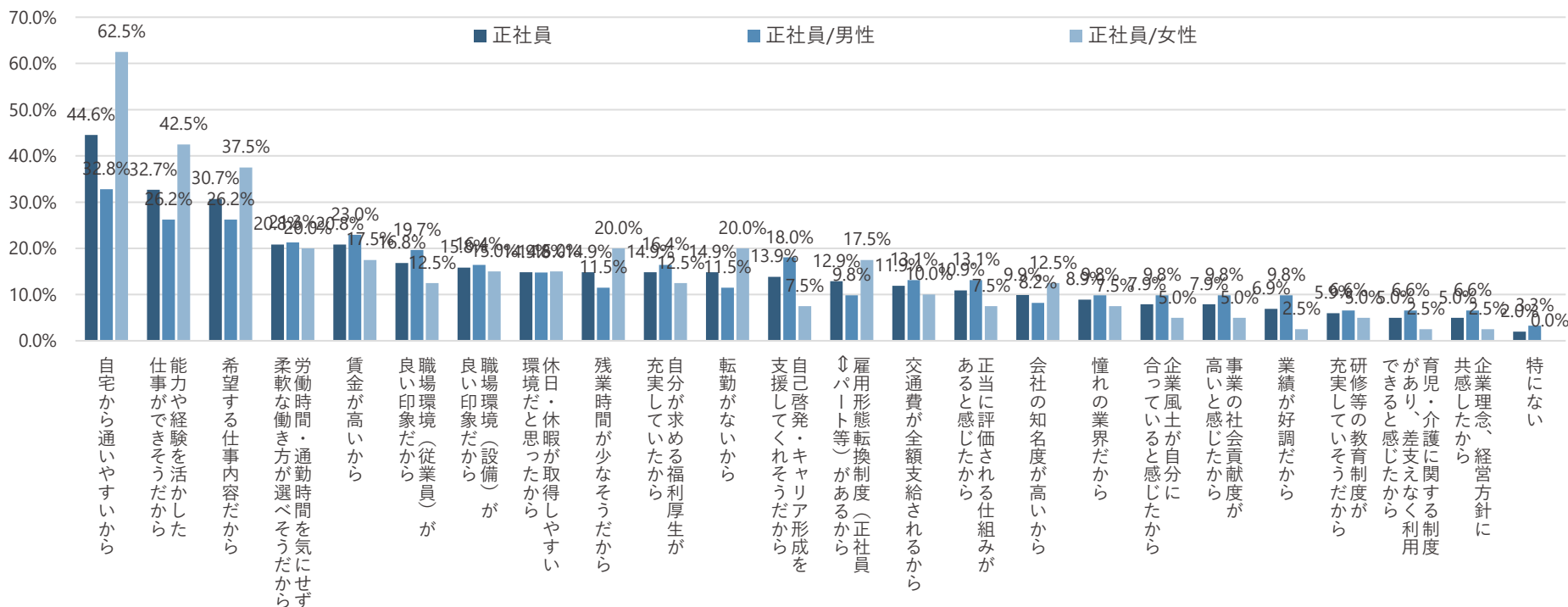
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「自宅から通いやすいから」が44.6%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が32.7%、「希望する仕事内容だから」が30.7%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自己啓発・キャリア形成を支援してくれそうだから」が10.5pt、「業績が好調だから」が7.3pt、「職場環境（従業員）が良い印象だから」が7.2pt高くなった。勤務地や労働条件だけでなく、従業員の印象という定性的な情報も、応募段階で加味されているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が29.7pt、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が16.3pt、「希望する仕事内容だから」が11.3pt高くなった。特に、通いやすさを選んだ割合は6割を超えており、重要な要素であることがわかる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



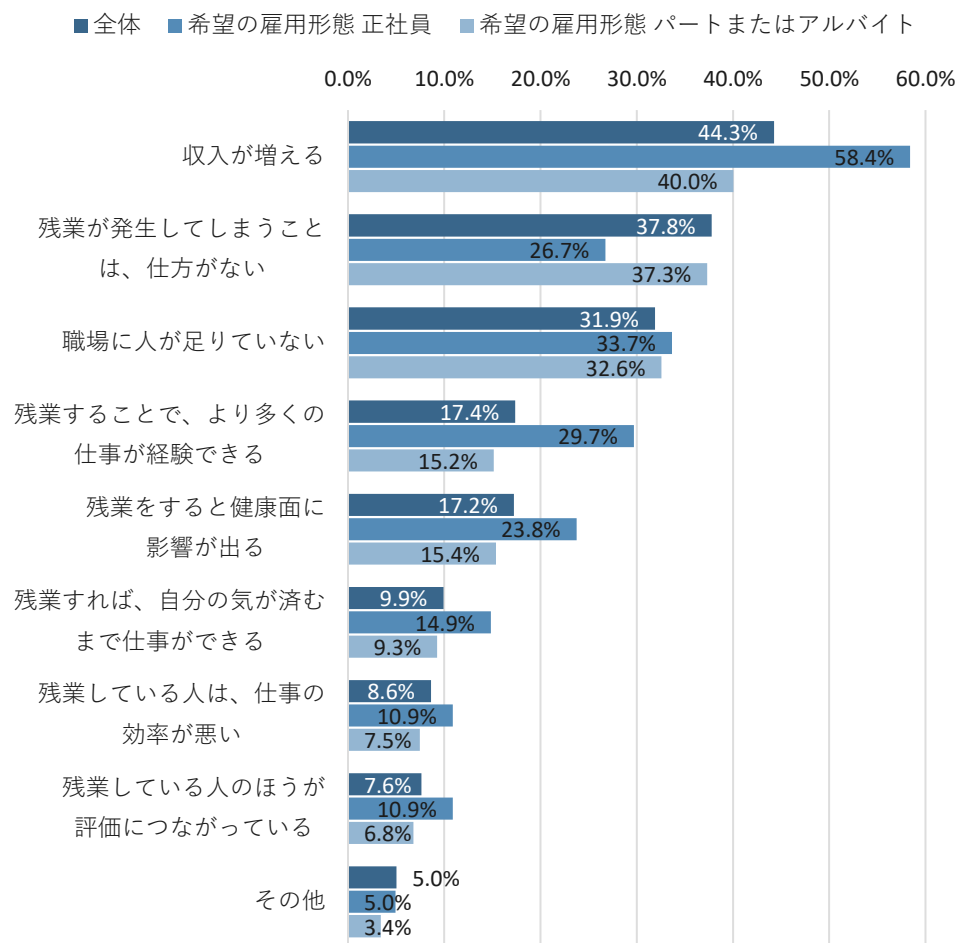
「残業」に対する印象や考え（希望の雇用形態別）

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「残業」に関する印象や考えをきいた（複数回答）。最も多かった意見は「収入が増える」で44.3%、次いで「残業が発生してしまうことは、仕方がない」が37.8%、「職場に人が足りていない」が31.9%となった。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「収入が増える」が58.4%、次いで「職場に人が足りていない」が33.7%、「残業することで、より多くの仕事を経験できる」が29.7%となった。残業で多くの業務をこなす分が経験につながると考える人が一定数いることがわかる。

「パートまたはアルバイト」を希望する人では「収入が増える」が40.0%、「残業が発生してしまうことは、仕方がない」が37.3%、「職場に人が足りていない」が32.6%となった。時間に制限がある中で働く人が多いため、「仕方がない」という受け入れる気持ちと「働き手を増やしてほしい」という気持ちの両方がうかがえる。また、収入に上限を設ける人も多い中、「収入が増える」という意見も半数弱にのぼり、ポジティブにとらえる人もいるようだ。

通常の業務時間や契約している勤務時間の他に業務を行う「残業」について、あなたはどのように思いますか（複数回答）



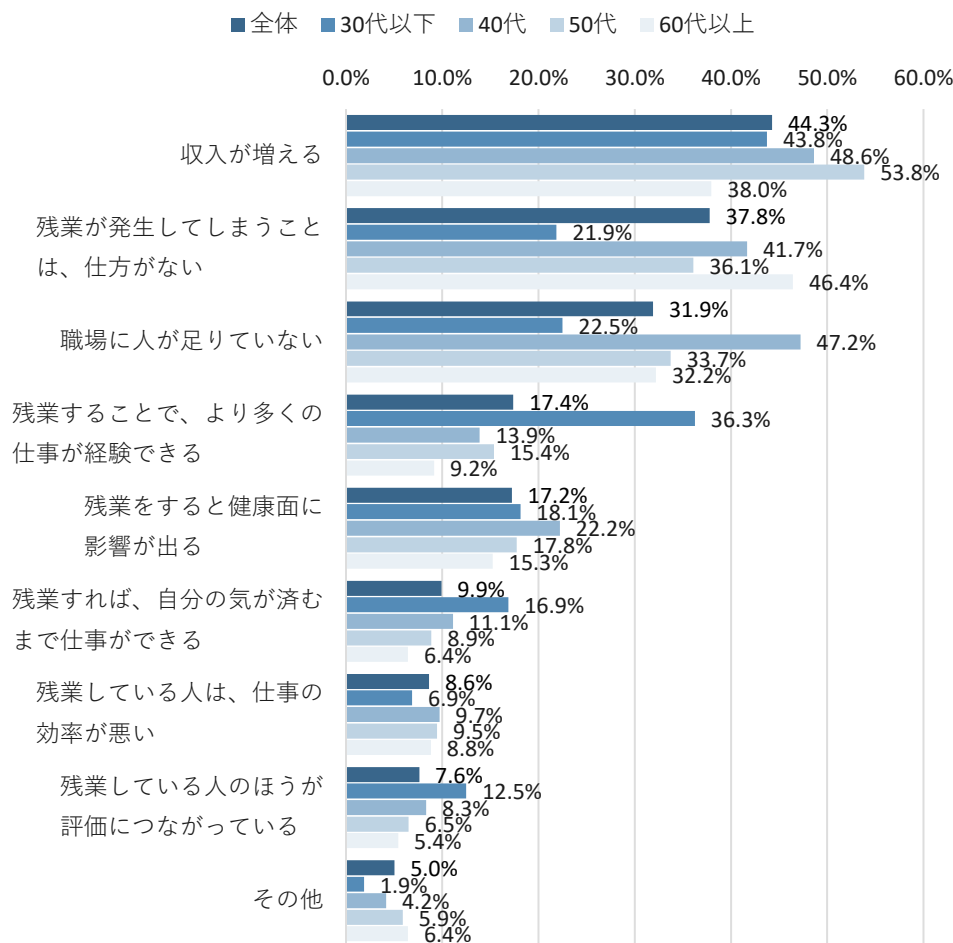
「残業」に対する印象や考え（年代別）

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「残業」に関する印象や考えをきいた（複数回答）。

年代別にみると、「30代以下」ではほかの年代に比べ「残業することで、より多くの仕事を経験できる」（36.3%）や「残業すれば、自分の気が済むまで仕事ができる」（16.9%）に多く意見が集まった。自身の成長機会ととらえる姿勢がうかがえる。また、「残業が発生してしまうことは、仕方がない」（21.9%）や「職場に人が足りていない」（22.5%）はほかの年代に比べあまり感じていないようだ。

「40代」ではほかの年代と比べ「職場に人が足りていない」（47.2%）や「残業をすると健康面に影響が出る」（22.2%）に多く意見が集まり、残業による負担感が表れた結果になった。

通常の業務時間や契約している勤務時間の他に業務を行う「残業」について、あなたはどのように思いますか（複数回答）



「残業」はしたいか

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「残業」はしたいかどうかをきいた。前提として、残業時間の賃金はきちんと支払われる注意書きをしている。

全体では、「どちらかといえば、したくない」が43.8%、「どちらかといえば、したい」が23.3%、「したい」が17.2%、「したくない」が15.7%となった。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「したい」が32.7%、「どちらかといえば、したい」が21.8%となり、5割以上が残業に意欲的なようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「したい」が42.5%、「どちらかといえば、したい」が20.0%となり、6割以上は残業することを厭わないようだ。一方で年代が上がるにつれて「したい」「どちらかといえば、したい」の割合は減少している。スキルアップや収入増加などを目的に積極的に働きたいという層は一定数いるものも、鵜呑みにせず、労働関連法はもとより、適正な業務配分などに引き続き注意していかなければならない。

「残業」は、したいですか？

